



トランペッター 田中 洋一 さん
大阪府在住 奈良市出身

僕は、秋篠川の流れる緑豊かな奈良市中山町で育ちました。
中学校の入学式で、吹奏楽部が「ロッキーのテーマ」を演奏しているのを聴いて、とても興奮しながら校門までの坂道を行進したのを覚えています。部活の帰りに、川沿いの田んぼで、友達とはしゃいで遊んだ事も思い出に残っています。

高校時代は、自転車で平城宮跡を縦断しながら通学していましたが、大極殿が復元された時は、そのスケールの大きさに驚かされました。独身時代、奥山ドライブウエーをドライブした時、夜景のパノラマビューを見て感動し、オリジナル曲を書き、クインテットで演奏しました。

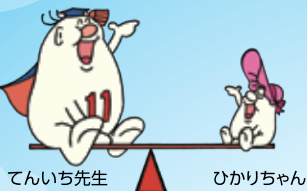
結婚後、大阪で暮らし始めて今年で10年になりますが、実家に帰る度に、今も変わらない奈良の風景を見て凄く癒されます。

近年は、「ミュージックフェストなら」や「なら瑠璃絵」のイベントに参加させて頂き、旧友と久しぶりの再会、また観光に来られた方々と新しい出会いがありました。

これからも地元奈良で演奏できる喜びを感じながら、音楽を続けていくつもりです。

人権コーナー

毎月11日は
人権を
確かめあう日



てんいち先生 ひかりちゃん

今月の標語

見逃すな 笑顔の下の
泣き顔を

奈良県立橿原高等学校 1年
きたはた まゆ
北畑 真由さん

今月のポスター

葛城市立新庄中学校 3年
はやみず りょうた
速水 亮太さん



認め合う 夫婦の姿 子の手本

この川柳は平成26年度に奈良県男女共同参画県民会議と県で共催した「奈良県男女共同参画川柳コンテスト」の最優秀句です。

県では性別にかかわらず、個人の個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指しています。

男女共同参画というと、単に家事や育児分担の問題のように考えられがちですが、今回のコンテストでは、家庭でも社会でも、男女が対等な立場で認め合い、協力することが何より大切だという本質をついた句が多く見受けられました。

一方、平成26年度に県で実施した調査では70%を超える方が「家庭と仕事・地域活動のバランスがとれ、男女がともに支え合うライフスタイルの実現」が進んでいないと答えています。

「男女共同参画社会」を実現するために、県女性センターでは「なら男女共同参画週間イベント」を7月2日から5日までの4日間開催します。県内各地で活動するグループの取組紹介や講演会などを行います。

この機会を活用し、男女のパートナーシップや一人ひとりの取組について考えてみませんか。

クイズ & プレゼント

〇〇に当てはまる文字を
答えてください。

Q 奈良公園や平城宮跡などの
観光資源が並ぶ通りで取り
組んでいるプロジェクト名は？

A 〇〇通りプロジェクト ヒントは
4ページ

4月号の答えは“4793”と“4713”のどちらも
正解とします。応募総数449件。

正解者の中から抽選で

おかいのふきん

(15ページで紹介の(株)岡井麻布商店提供)を

2枚1組(色は選べません)で
5名の方にプレゼント!



締め切りは6月30日(消印有効)

※個人情報、プレゼント発送以外には利用いたしません。
ハガキに答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取り上げてほしい話題・改善点など)を記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。
ホームページ(www.pref.nara.jp/30222.htm)からも6/1以降応募できます。